

はじめに



札幌は、年間 5 m もの降雪がありながら、190 万人を超える人口を有する、自然と都市機能が共存する世界に類を見ない都市であり、明瞭な四季の変化や新鮮でおいしい北海道の食の魅力などを背景として、多くの観光客にお越しいただいております。

令和 2 年（2022 年）以降はコロナ禍により観光業界にとって非常に厳しい時期が続きましたが、令和 5 年（2023 年）5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へ移行してからは、さっぽろオータムフェストや、さっぽろ雪まつりといった、札幌を代表する大型イベントを制限なく開催でき、市民の皆様をはじめ、国内外から多くの方に訪れていただくなど、コロナ禍からの回復が着実に進んでいることを実感しております。

観光は、運輸業や宿泊業、旅行業に加えて、飲食業や小売業など様々な業種と関連する、すそ野が広い産業であり、市内での観光消費は地域経済全体に高い経済効果をもたらします。

これまで増加傾向が続いてきた札幌市の人口も減少局面を迎え、今後、市内における消費活動の縮小が懸念される中であって、国内外から人を呼び込み消費を獲得できる観光の重要性は、これまで以上に高まると考えております。

この度策定した第 2 次札幌市観光まちづくりプランでは、2032 年度の総観光消費額 1 兆円という目標を掲げ、各種の観光振興施策を実施するとともに、持続的に札幌の観光を発展させていくための体制の整備や財源の確保に向けた具体的な検討を進めることとしております。

本プランを推進することで、旅行者、事業者、市民の皆様、それぞれが観光による恩恵を受け、より魅力的なまちづくりが加速していく、観光まちづくりの好循環の実現を目指してまいります。

結びに、本プランの策定にあたり、熱心にご議論いただきました次期札幌市観光まちづくりプラン検討委員会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただいた市民、事業者、観光関連団体の皆様に対し、心からお礼申し上げますとともに、札幌の観光まちづくりについて、引き続きお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

令和6年（2024年）3月

札幌市長 秋元克広